

KELES Newsletter

関西英語教育学会報 2018年度 第2号

事務局：〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

大阪教育大学 教育学部 教員養成課程 橋本健一研究室内

E-mail: kelesoffice@gmail.com 学会ウェブサイト: <http://www.keles.jp/>

2018年12月3日発行



巻頭言

JASELE2018京都研究大会を終えて

関西英語教育学会 (KELES) 会長 里井久輝 (龍谷大学)

師走に入り、秋学期もたけなわかと存じます。春学期に比べますと、心なしか秋学期の時の歩みは、速く感じられます。気が付くと10月が去り、秋が深まり、もうクリスマス、などという感慨を、季節の移り変わりとともに毎年のように持つ自分に気づきます。そのような気分や心理に合わせてということでもないのですが、この時期にはWhen October Goes、Autumn Leaves、White Christmasといった曲をよく聞きます。音楽と心とが合致し、曲の方が季節感を増幅するのかもしれない。12月に入ると教室でもWhite Christmasを教材にすることがあり、学生からは時に「White Christmasとは、先生の頭の中が真っ白のクリスマスですか」と凶星を指されながらも、新年への時の歩みをかみしめています。

さて、去る8月25・26日の2日間にわたりましてJASELE2018全国英語教育学会京都研究大会が龍谷大学大宮学舎で開催されました。カレン・ジョンソン先生の特別講演、研究発表・実践報告、ポスター発表、課題研究フォーラム、授業研究フォーラム、大学生・大学院生フォーラム、シンポジウム、ランチョン・セミナー、ワークショップと、役員一同心を砕いて多くの企画・プログラムを取り揃えたJASELE2018は、おかげさまで初日だけでも優に900名を超える参加者を得て盛況のうちに終了し、大変活気にあふれた有意義な学会になりました。熱心に御参加くださった皆様、成功に導いてくださったすべての皆様に、あらためまして心より御礼申し上げますとともに、本研究大会での成果が、明日のよりよい英語教育に活かされますことを心より願ってやみません。

関西英語教育学会では、会員の皆様のためのセミナーを、年度内にあと2回、来る12月23日には「英語学の知見を活かした授業実践」をテーマに第45回セミナーを、そして来年の2月には恒例の第22回卒論・修論研究発表セミナーを開催いたします。そこでもまた皆様と、真摯で充実した時間を御一緒させていただけますことを心より楽しみにいたしております。

報告 関西英語教育学会2018年度 第44回 KELESセミナー

毎年3回程度、英語教育研究の各論や実践で起こっている事象を取り上げたテーマでKELESセミナーを実施しています。また年度初回は「英語教育事始め」として、英語教育研究を始める・始めたい方を対象にしたセミナーを開催しています。本年度初回となる第44回セミナーは現在中高で勤務しつつも、英語教育の学会に積極的に参加して下さっているお二人の先生に、学生時代にどのようなきっかけで学会に参加するようになったか、今現在学会に参加することで得られるメリット（あるいはご苦労）についてお話いただきました。講師をお引き受け下さった南先生、泉谷先生をはじめ、ご参加くださった皆様、会場を提供して下さった関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

以下、それぞれの講演の報告を記します。

講演1

研究の第一歩：記録に残すことから始めよう

南 侑樹（大阪府立槻の木高校）

南先生のご発表は、大学院修士課程修了後に教諭として採用される前に非常勤歴、常勤講師歴があり、決して順風満帆なわけではないという断りからお話が始まった。本トークには「記録に残すことから始めよう」という副題がつけられており、南先生の普段の授業実践、ご研究への姿勢が垣間見えた。

学部生の頃に受講していた講義の認定要件として「学会への参加」が提示されており、気になったものに参加し、質問を発表者にぶつけてみて、返答を得るという学会内でのコミュニケーションの経験をもとに、その後の学会参加へ繋がられたという流れは、私自身も似た経験があり、深く共感することができた。

また、学生時代から積極的にジャーナルへの投稿、全国学会での発表へ挑戦され、今もアクティブで貪欲に学んでおられる南先生は、学生

時代から「南先生」であったと想像することができる。学会の質疑応答、ジャーナル査読者とのやりとりからも、南先生の「コミュニケーション」への積極性が顔を覗かせていた。

学会、研究会でのやり取りだけでなく南先生はSNS上でも非常にアクティブに活動されており、ご趣味の競馬、カーリング、最近読まれた本のご感想をシェアされている。特に、北海道の浦河べてるの家、ソーシャルワーカーの向谷地氏の新書「安心して絶望できる人生」を示され、この本が先生ご自身に大きく影響を与えていることがわかった。

学生や現職教員の自己研鑽の方法として、南先生は全国英語教育学会が2014年に発行した「JASELE記念特別誌：英語教育学の今-理論と実践の統合-」を挙げられた。英語教育に関する勉強を行う場合には、概説書から入り、さらに専門書で深めていくというプロセスをわかりやすくご紹介され、これから英語教育研究を始めようと考えている現職教員や学部生・院生にとっての事始めとして、強く印象に残ったに違いない。もちろん書籍を読み始めると、誰もが躓く瞬間がくるので、仲間を集って輪読するという案（ご自身のご経験をもとに）を示され、学生同士で教え合うことにより、深まる学びについて言及された。

現在のご研究として、今年度に滋賀県で開催される全英連（全国英語教育研究団体連合会）においても、リフレクティブ・プラクティスの観点から学習者のリアクションペーパーをもとに、タスクを開発し、それが遂行できるように授業を展開する逆向き設計、指導案と記録の充実を核にご発表されるご予約だそう。（事務局注：全英連のご発表は11月17日に終了しています。）

私自身、南先生とはそこそこ長い付き合い？で、普段から「インプット・アウトプットの鬼」と感じていたが、今回お話をお聞きして、

やはり「鬼」であると認識を新たにした。英語教師の生き方として、強い刺激を受け、お話を聞いた人それぞれが明日から真似できるエッセンスに富んだトークとなった。

(報告者：大阪府立大学工業高等専門学校
谷野 圭亮)

講演2

My Career Teaching English and Researching on English Education

泉谷 忠至 (近畿大学附属高等学校・中学校)

2つ目のトークは、近畿大学附属高等学校にお勤めの泉谷先生から戴いた。奈良教育大学・同大学院へ進まれた泉谷先生は在学中、渡邊一保先生と佐藤臨太郎先生に師事をし、現在は教壇に立たれて3年目だとのこと。若手とは思えない軽快なトークと、フロアを巻き込みながらのご講演には、多くの参加者が惹きつけられた。また、ご講演のあらゆる部分で強調された「英語で英語の授業を」というご自身のbeliefに、参加者の皆が大きな刺激を受けた。泉谷先生のお話が魅力的だったのは、磨き抜かれた英語のトークスキルはもち

ろんのこと、「英語で英語の授業を」という学部生・院生時代からの研究テーマに関して今もなお、授業と研究の両方の視点から取り組まれていることが大きいからであろう。英語教育に関するご自身の言語観・言語習得観のみならず、実践知の少ない若手だからこそ、実践研究の視点から謙虚に向き合い続けることの大切さを伺い知ることができた。先生の具体的な取り組みとして、教師の英語使用量を確保するのは当然のこと、① 生徒が英語を使う機会をより多くすること、② アクティビティの前には教師が手本を見せること、③ 授業内で生徒が英語使用しやすいように動機付けをすることなどを示されたのは非常に有益であった。また、多忙な教師生活の中でも校種の枠を超えた研究プロジェクトにも参加されたり、学会運営にも自ら積極的に取り組んでおられるなど、自らの教育・研究手法の研鑽のみならず後進の学部生・院生の育成にも余念がないという。今後も泉谷先生の教育・研究活動でのあらゆるご活躍から目が離せない。

(報告者：関西大学第一中学校 山形 悟史)

学会事務局からのお知らせ

◆第45回KELESセミナーのお知らせ

テーマ： 英語学の知見を活かした授業実践
講師： 高橋 勝忠 先生 (京都女子大学)
中川 右也 先生 (鈴鹿高等学校)

日時： 2018年12月23日 (日・祝)
13:00-17:00 (予定)

会場： 龍谷大学 梅田キャンパス
〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2
ヒルトンプラザウエストオフィス
タワー14階

資料代： 会員無料・非会員1,000円

詳細 (ウェブサイト) :

http://www.keles.jp/news/keles_seminar_45/

◆第22回卒論・修論研究発表セミナーのお知らせ

日時： 2019年2月11日 (月・祝)
9:30-17:30 (予定)

会場： 関西国際大学 尼崎キャンパス
〒661-0976
尼崎市潮江1丁目3番23号

参加費： 会員・非会員とも 500円

ウェブサイト：

http://www.keles.jp/news/keles22_thesis/

当日は玉井健先生 (神戸市外国語大学) を講師にお迎えしてスペシャル・トークを開催いたします。

卒業論文・修士論文を完成させた暁には、こちらで是非発表していただければと思っております。指導学生をご担当の先生方におかれましては、発表（口頭発表またはポスター・デモ発表）を勧めていただければ幸いです。

詳細は、同封のフライヤー・KELESウェブサイトをご覧ください。

◆学会費納入のお願い

2018年度末を迎えるにあたり、2018年度学会費納入の確認をお願いいたします。

2018年度分の学会費が未納の方は納入をお願いいたします。2018年度分学会費を2019年2月末までにお支払いいただいていない場合には、2019年8月に開催の全国英語教育学会第45回弘前研究大会での発表ができませんので、ご了承下さいませ。

◆各種お問い合わせフォームについて

<http://www.keles.jp/>

お問い合わせには、学会ウェブサイトの各種お問い合わせフォームをご利用下さい。

▶入会をご希望の方

▶研究大会

研究大会の発表応募、企業展示の申込みなど

▶各種セミナー

セミナーへの参加登録、発表申込み、企業展示の申込みなど

▶学会誌『英語教育研究』

学会誌への論文投稿など

▶お問い合わせ

学会費、学会誌、研究大会、各種セミナー、入・退会、会員情報の変更、その他学会全般に関するお問い合わせ

◆編集後記

事務局が交代して2回目のニューズレターのお届けとなります。それなりに長い期間KELESには関わらせていただいているつもり

ですが、事務局の運営となりますとまだまだタイムリーな動きができず、前任の先生方はこんなすごい仕事をしていたのか…と改めて思う次第です。会員の皆さまになるべく迅速に正確な情報をお届けできるように、まずはしっかりと整えていきたいと思っています。

さて、年（度）末となってまいりまして、12月セミナーの開催、そして2月には卒修論セミナーの開催となります。私自身も本格的に事務局の仕事をするようになって初めてのイベントが卒修論セミナーでした。朝一番で緊張の面持ちで会場に入られる学生さんたちが、発表となると堂々としたもので、次々と飛んでくる質問にも的確に応答していて、終わられるとホッとしていい顔をされている様子は、何度見ても良いものです。今年もたくさんの学部生・大学院生の皆さんの充実した顔が見られることを楽しみにしております。ぜひ卒修論セミナーでのご発表をご検討ください。（KH）

